平成１７年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

（整理番号） ３０１ ※記入不要	提案機関名	横須賀三浦地区農政事務所

要望問題

東京湾のタチウオ資源・生態調査

要望問題の内容　【　背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】

東京湾のタチウオは、小型底びき網漁業、刺網漁業、遊漁船業で利用されていたが、昨年より横浜市漁協柴支所の小型底びき網漁船が本格的に漁獲するようになり、その漁獲圧の高さから資源の減少が危惧されている。さらにシャコやマコガレイなどの漁獲量が減少している中、東京湾の小型底びき網漁業のタチウオへの依存度が以前に増して高まることが想定される。そのようななかで、横浜市漁協、横須賀市東部漁協の小型底びき網漁業者は、タチウオの不合理漁獲の削減のために網目の統一を決めるなど、自主的な取り組みが先行している。

しかしながら、漁獲対象資源の系群などの資源管理上重要な知見もみられず、現状では自主的な取り組みについて科学的データに基づいた提案をすることもできない。

そこで、タチウオ資源の高度利用を図るために、資源・生態調査を実施してもらいたい。

解決希望年限	①１年以内　[②２～３年以内]　③４～５年以内　④５～１０年以内
研究対応区分	[①研究所対応]　②委託研究　③共同研究　④その他
対応を希望する研究機関名	①農業総合研究所（ ②根府川試験場　③三浦試験場　④津久井試験場 ） ⑤畜産研究所　[⑥水産総合研究所]（ ⑦内水面試験場　⑧相模湾試験場 ） ⑨自然環境保全センター

※　ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	水産総合研究所
部　　署：資源環境部	
対応区分	[①実施] ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可

試験研究課題名　（①、②、④の場合）

対応の内容等

近年、東京湾の漁業にとってシャコ、マコガレイの不漁の中、特にタチウオが重要な対象魚種になってきたことは、認識しております。しかし、東京湾のタチウオについては、今まで調査、研究がされておりませんので、その生態や資源についての知見は、全く無い状況であります。

資源管理を実効あるものにするには、その魚種の生態や資源状況の把握が基本ですが、本格的に調査、研究するには、多くの時間と経費を要しますので、現在の人員、予算体制では直ちにフィールド調査に着手するのは難しいと思います。

当面は、漁獲量データの収集と解析を行い、漁獲の実態（漁業種類別、地区別、漁獲量等）を把握するところから始めたいと考えています。

解決予定年限	①１年以内　②２～３年以内　③４～５年以内　[④５～１０年以内]

備　考